



2021年度阪神高速若手研究者助成の決定について

阪神高速道路株式会社（大阪市北区、代表取締役社長：吉田光市）は、一般財団法人阪神高速先進技術研究所及び一般財団法人阪神高速地域交流センターとともに、若手研究者の育成に寄与する社会貢献の一環として、更にはその研究の成果を当社の高速道路サービスの向上にも活かすため、2018年度から「阪神高速若手研究者助成基金」を設け、公募によって、都市における高速道路に関する研究に対して助成金を支給しております。

2021年度については、2020年11月24日から2021年2月12日まで構造、交通工学および経済など幅広い分野から募集を行い、計12件の応募をいただきました。これらを社内選定委員会において厳正に審査した結果、次の4件の研究（計約590万円）を助成することを決定しました。

研究課題名	所属	職名	氏名
ETC2.0 プローブデータを用いた動的な情報提供のための旅行時間予測手法	神戸大学大学院 工学研究科	特命助教	安田 昌平
鋼橋ボルト接合部の力学的挙動が構造全体系の耐荷・耐震性能に及ぼす影響	神戸大学大学院 工学研究科	准教授	橋本 国太郎
多方向配筋下におけるRC構造の腐食及び割れ進展の微細構造解析と剥落リスク推定	東京大学 生産技術研究所	准教授	長井 宏平
物語型情報がインフラ整備への支持意識に与える影響についての社会心理学研究－大阪湾岸道路西伸部を事例として－	京都大学大学院 工学研究科	助教	中尾 聡史

研究課題名の50音順

なお、その研究成果については、2022年6月頃、HP等で公表する予定です。